



# JA葬祭 通信

2017.12月発行 第13号

発行 / 福島県JA葬祭事業連絡協議会  
編集 / ㈱JAライフクリエイティブ福島 生活事業部 催事課  
〒963-0725 郡山市田村町金屋字下夕川原76番1  
TEL024(942)5078  
ホームページ <http://www.jalcf.jp/index.shtml>  
お客様相談窓口 ☎024(942)5078  
(ご意見・ご質問)

## Contents

- 斎場スタッフ・受付担当者のコンテストを開催
- JA職員紹介
- JA斎場にて各種イベントを実施しました
- 形見分けについて
- 豆知識(弔辞について)

## 斎場スタッフ・受付担当者のコンテストを開催

### 第9回 JA斎場スタッフ接遇コンテスト

共催：福島県JA葬祭事業連絡協議会  
㈱JAライフクリエイティブ福島



最優秀賞の(株)JA郡山市協同サービス

5月29日(月)に、郡山市の(株)JA郡山市協同サービスJA郡山東斎場において、今回で9回目となるJA斎場スタッフ接遇コンテストを開催いたしました。1チーム3名(司会者1名、儀典スタッフ2名)となり、計5チームが参加いたしました。

このコンテストでは、司会技術及び儀式運営の順応力の向上を目的とし、JA葬祭の更なるスキルアップと知識の習得を図り、「身だしなみ」「式場における告別式の運営(応対マナー・司会技術)」を内容に審査を行いました。

各チーム違う宗派で競技を行い、各宗派ごとに使用する葬具の種類や配置の正確さの審査を取り入れました。各チーム日頃の丁寧な応対とめくもりのある司会技術を披露していました。

- 最優秀賞…(株)JA郡山市協同サービス
- 優秀賞…JAふくしま未来 伊達地区
- 優良賞…JA会津いいで 総合サービス(株)



競技の様子

### 第3回 福島県葬儀受付コンテスト

共催：福島県JA葬祭事業連絡協議会  
㈱JAライフクリエイティブ福島

9月16日(土)に郡山市熱海町にある清稜山倶楽部において、今回で3回目となる福島県葬儀受付コンテストを開催いたしました。

葬儀現場では担当者の知識に加え、喪主やご遺族の想いを汲み取る気配り(グリーンサポート力)や応対力などのコミュニケーションスキルが求められるため、これら知識とスキルの高位平準化とより一層の自己研鑽を図っています。

各受付担当者は会場に広がる緊張感の中、喪主やご遺族に寄り添い丁寧でおもいやりが伝わる応対を披露しました。



競技の様子(県大会)

### 第3回福島県葬儀受付コンテスト



左から木村舞美さん、大槻貴寛さん、壁谷沢文さん

- 最優秀賞…大槻貴寛さん(JAふくしま未来 伊達地区)
- 優秀賞…木村舞美さん(㈱ジェイエィ新ふくしまライフ)
- 優良賞…壁谷沢文さん(株)JA郡山市協同サービス

### 第2回

### 葬儀受付コンテスト 東北大会



競技の様子(東北大会)

10月31日(火)に第2回葬儀受付コンテスト東北大会が同じく清稜山倶楽部において開催されました。福島県代表で出場したJAふくしま未来伊達地区の大槻貴寛さんは、優秀賞を修めました。

# JA職員紹介

今回はJA葬祭で活躍する女性職員の方にお話を伺いました。  
取材を受けていただいたのは、(株)JAいわき市協同サービス 業務管理課 係長の赤坂 博子さんです。



赤坂 博子係長  
(株)JAいわき市協同サービス  
業務管理課

大学生の二人のお子さんを持つお母さんでもあります。お休みの日はドライブなど外へ出掛けることが良い気分転換になっているそうです。

## 納棺士として**最後のお別れの時**を一番身近に接する大事な仕事であると思っています

元々は同業の葬儀社で働いていましたが、結婚・出産によって退職した後、ご縁がありこちらの会社から声を掛けていただいて、(株)JAいわき市協同サービスへ勤めることとなりました。

普段の仕事は、経理がメインですが、葬儀に関して受付担当の方が受注してきたものを発注する業務や、お亡くなりになられた方の「旅のお仕度」をする納棺士の仕事もしています。

納棺は、お亡くなりになられた方とご家族・ご親族との最後のお別れのセレモニーです。一番身近に皆様に接してその最後の「時」をお手伝いする一番大事な仕事だと思っています。納棺はとても緊張しますが、ご家族が悔いの残らないようにお見送りしていただくため、皆様のご希望・心情に寄り添えるよう日々心掛けています。

現在(株)JAいわき市協同サービスには2名の納棺士が在籍しています。もう一人は私の師匠の女性です。前職での経験や師匠と一緒にについて回り勉強しました。まだまだ勉強することはたくさんありますが、今後は、後輩の育成にも力を入れたいですね。



左は取材に同席いただいた(株)JAいわき市協同サービスの桑原正二取締役常務

## 今年発足した県内JA葬祭で働く女性スタッフによる集まり「JA葬祭女性部」の初代リーダーに就任した赤坂さん

JA葬祭女性部は女性ならではの視点・意見を出し、企画立案や情報交換などを目的に集まって活動しています。



女性部への参加は自己啓発でもありますが、県内各地の女性スタッフと交流を持てるのが良かったと思います。同じ福島県でも地域によって葬儀のやり方や風習が違いますからね。これから仕事を自分のものにしてスキルアップしていきたいです。それとより一層、女性が働きやすい環境を目指して作ってあげたいと思っています。



女性部と宮城県女性スタッフとの交流会での写真。  
左側は宮城県のJA葬祭協議会のみなさん。  
右側が福島県のJA葬祭女性部のみなさん。



# JA齋場にて各種イベントを実施しました

(株)ジェイエサービスすかがわ岩瀬

## 人形・ぬいぐるみ供養祭

日時：平成29年5月24日(水)  
場所：あいらすホール須賀川

人形・ぬいぐるみ供養祭には、102名の方が来場し、心を癒してくれた人形・ぬいぐるみ1815体が集まり、感謝の気持ちを込めて供養いたしました。



JAふくしま未来 そうま地区

総合展示会 日時：平成29年5月27日(土)  
場所：やすらぎ会館原町



総合展示会では提灯やギフト、仏壇仏具などの展示、葬儀・法要相談を実施し、約200名の来場者がいらっしゃいました。思い出の写真撮影コーナーもあり、写真撮影される方もいらっしゃいました。

JA福島さくら たむら地区

## 新盆・法事総合展示予約会

日時：平成29年6月4日(日)  
場所：JA福島さくらまごころ

新盆・法事総合展示予約会には、127人が来場しました。提灯や盆棚、仏具、引出物、料理、生花等の展示物を見てご予約を頂きました。



JA会津よつば みなみ地区

## 第14回人形・ぬいぐるみ供養祭

日時：平成29年6月27日(火)  
場所：下郷やすらぎ斎苑

当日は、一緒に遊び慣れ親しんだ約1,000体の人形・ぬいぐるみを、JA関係者と「しもごう保育所」、「湯野上保育所」の園児50名が供養し、お別れをいたしました。



(株)ジェイエ新ふくしまライブ

## ふれあい感謝祭

日時：平成29年7月15日(土)  
場所：JAホールまごころ

当日は展示コーナー、試飲試食コーナー、ミニ健康チェック、民謡と津軽三味線・和太鼓コンサート等を実施しました。日本民謡は浅野光子さん、三味線は佐藤兄弟(知さんと悠紀さん)と佐藤元海さん、



和太鼓は本間航さんが演奏いたしました。

JA共同施設(株)

## 人形・古提灯供養祭

日時：平成29年9月4日(月)  
場所：JA齋場あだたら

供養祭には役員や社員約20名が参列し、地域の方々から持ち込まれた人形508体、提灯129灯を貴船神社の高橋廣一郎宮司が御祓いなどを行い、供養いたしました。



JAふくしま未来 伊達地区

## 人形供養祭・終活フェア

日時：平成29年9月24日(日)  
場所：みらい齋場ほばら・華蓮

人形供養祭・終活フェアには約150人の来場者が訪れました。人形供養祭では、約1500体の人形が集まり供養され、終活フェアでは、エンディングノートや葬儀・相続対策について解説しました。



JA夢みなみ 石川地区

## ふれあい感謝祭

日時：平成29年10月14日(土)  
場所：あぶくま齋場石川

ふれあい感謝祭では、事前相談会、人形供養祭、アレンジメントフラワー教室、齋場料理の展示・軽食提供を行いました。



人形供養祭には約1,300体の人形が集まり、聖徳寺の岩崎恵慎住職により供養されました。軽食提供ではけんちんうどんと混ぜご飯が提供されました。



JA会津いいで総合サービス(株)

## 感謝祭・人形供養祭

日時：平成29年10月14日(土)  
場所：JAまごころ齋苑豊川

当日は晴天にも恵まれ感謝祭及び人形供養祭には約200名の来場者で大いに賑わい、人形・ぬいぐるみは約1000体集まり供養されました。



アニマルタオル作成や会食料理・ギフト展示、プロによるヘアメイク&生前遺影写真撮影会、パントマイム・マジックショー、事前相談会など盛り沢山の内容で来場の皆様に大いに喜ばれました。

(株)JAいわき市協同サービス

## 内覧会・人形供養祭 料理試食会

日時：平成29年10月14日(土)  
場所：やすらぎ会館ラポール・錦

当日は約250名が来場し、事前相談会、ホール内覧会、齋場料理試食会・お茶の試飲会を実施しました。人形供養祭では約1500体の人形・ぬいぐるみの供養をいたしました。



# かたみわ 形見分けについて

## 形見分けとは？

「形見分け」とは、故人の愛用品などを近親者や親しい人に分け、品物を通して故人の思い出を共有するために行います。現在では目上の人に対しても、故人と親しい人であれば誰でも受け取ることができますが、まだまだ一般的ではないため相手からの希望がない限りこちらから送ることは避けた方が良いでしょう。「形見分け」でもらうものがその人にとって故人の証になるため、その人のためを考え選ぶようにしましょう。無理に形見分けを押し付けることも避けましょう。「形見分け」を行う時期は特に決められてはいませんが、一般的に四十九日法要などの宗教儀式と合わせて行うことが良いことだとされています。神式では五十日祭や三十日祭、キリスト教では1ヵ月命日である追悼ミサで行われることが多いです。四十九日法要や五十日祭は忌明けに当たる日で、故人は仏の元へと向かうため、「形見分け」は最後の見送りとともに故人を忘れないための一種の儀式と言えます。



## 形見分けで気をつけたいポイント！

### 華やかな包装はしない！

きちんと包装をしてから相手に贈った方が良いと思われかもしれませんが、形見分けでは華やかな包装をしてはいけません。形見分けは贈り物ですがプレゼントとは違うため、包みたい場合は白い紙(奉書紙や半紙等)で軽く包む程度にします。割れ物の場合は割れないように梱包材で包んでも大丈夫です。

### 贈与税がかかるか確認しておく！

遺品には稀に高価な品物が出てくることもあります。その様な時に気をつけなければならないのが贈与税です。贈与税とは、贈与された財産の合計が110万円を超えたらかかる税金のことです。贈与された人が支払う税金のため贈与税がかかるか確認し、かかる場合は先に伝えておくことが必要です。

### 遺産分割を完了しておく！

相続人が多くなるほど遺産分割が複雑になります。個人の形見も遺産に捉えられ、遺産分割が完了していない状態で勝手に形見分けを行ってしまうと、トラブルになってしまいます。必ず遺産分割を完了してから、遺族で話し合って形見分けを行いましょう。

## 形見分けの トラブルも…



### 故人との関係性があやふやな場合

故人の人間関係を完璧に把握することは難しく、形見分けをする際に「故人と親しかった」と申し出てくる人がいます。しかし、本当に親しかった人だけが申し出るとは限りません。形見目的で申し出てくる人もいるため、関係が不明瞭な場合は形見分けを行わないようにするか、親族のみで形見分けを行いましょう。

### 価値のあるものが処分・廃棄される

故人や特定の関係者にとっては価値のあるものでも、一般的に見れば遺産としての価値がないものと勝手に判断し処分してしまうと、形見分けとして贈ることができなくなってしまう場合があります。専門的な知識を持っている方と相談しながら、「処分するもの」「相続として残しておくもの」「形見分けで渡すもの」と分類すると良いでしょう。

## 豆知識

## 弔辞について

### 弔辞とは？

人の死を悼み悲しむ気持ちを表すための言葉です。故人と親しかった人が御霊前で永遠の別れを惜しむ言葉を読み上げるという形が最も一般的な弔辞です。



### 弔辞を作成するポイント

- 1 一般的には個人への呼びかけ(個人の名前をフルネーム)から始めます。
- 2 故人の死に対する驚きと悲しみを込めて惜別の言葉を伝えます。
- 3 故人との関係性や故人の功績・長所を賛えます。
- 4 遺族への慰めと励ましの言葉を伝え結びとします。

### 弔辞を読む際の注意点

司会者に呼ばれたら霊前に進み、僧侶・ご遺族に一礼し、ご遺影に一礼する。

右手に持っていた弔辞を広げ、両手に持ち個人に語りかけるように読み進める。

読み終えたらもとのようにたたみ、表書きをご霊前に向けて壇上に置く。

ご遺影に一礼し、僧侶・ご遺族に一礼して席に戻る。

詳しくはお近くのJAにご相談ください。

県内JA葬祭窓口に関しては(株)JAライフクリエイト福島HPをご覧ください。

<http://www.jalcf.jp/index.shtml>

JAライフクリエイト福島

検索

